

# 貿易(輸出)取引における債権回収リスクヘッジプログラム(輸出取引信用保険)のご案内

●取扱代理店: 三井物産クレジットコンサルティング株式会社  
●引受保険会社: 東京海上日動火災保険(株)

## 1. 本プログラムの対象となるお客様

輸出取引を行っておられる企業様 (引受条件の目安: 輸出売上高5億円以上・取引先5社以上・支払サイト2年以内)

## 2. 海外債権管理のお悩み(経営課題)



## 3. 本プログラム(輸出取引信用保険)の特徴

### 1. 輸出代金債権の回収リスクをカバーします。

輸出お取引先の倒産・代金不払い等(信用危険)や地震・戦争等(非常危険)の発生によりお客様が代金を回収できずに被った損害の一定額を補償します。支払サイトが2年以上のお取引や、信用状況に問題がありそうなお取引先などを除いて、全ての保険対象取引をカバーします。

### 2. お客様専用最適なプログラムを設計します。

保険の対象となるお取引を「事業部の全てのお取引先」、「ある商品の全てのお取引先」、「出荷後(船積み後)リスクのみカバー」と設定する等、ご要望に応じてプログラムを設計します。

### 3. 事務手続きが簡単です。

お申込みの際、原則、お客様よりお取引先の財務諸表等をあらかじめご用意いただく必要はありません。契約締結後は、保険対象お取引の売上高を毎月ご通知いただくだけで、輸出取引発生ごとのご通知は不要です。

### 4. 債権回収手続きに係るご負担を軽減いたします。

万一損害が発生し保険金をお支払いした場合、支払保険金と同額の未弁済債権は弊社に譲渡され、その債権については原則弊社が海外回収ネットワークを活用し回収を行います。保険金支払後に、回収状況の定期的なレポートを求めなど、お客様に回収協力義務を強制するものではありません。

### 5. 輸出取引先の与信管理をサポートします。

弊社は2005年3月日本で初めて「輸出取引信用保険」の認可を取得し、お引受けを開始しております。全世界約1億社(2012年9月現在)のデータベースを基に弊社から輸出取引先の与信限度額設定審査や信用力悪化の情報提供を随時行いますので、輸出お取引先ポートフォリオの見直しにお役立ていただけます。

### 6. ムダ・モレのない総合リスクファイナンスを構築します。

弊社は、外航貨物保険(マリン)、海外PL保険等輸出取引に関するムダ・モレのないリスクファイナンス構築をご支援いたします。お客様のニーズにお応えして、東京海上グループを挙げてトータルなワンストップサービスのご提供に努めさせていただきます。海外取引拡大および持続的な成長の下支えになるようお客様の海外リスクマネジメント体制の更なる充実を図ります。

## 4. (ご参考) 主な保険以外の輸出代金債権回収リスクのヘッジ手法

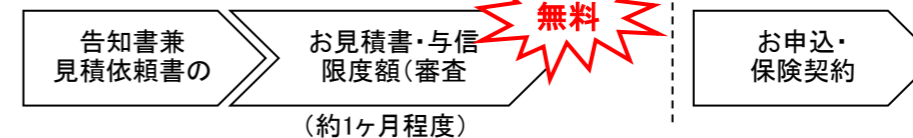
ヘッジ手法	L/C(信用状)	国際ファクタリング
概要	・信用状は輸入者の取引銀行が一定の条件の下に、輸入代金の支払を保証するもの。	・取引先毎に手当てし、ファクタリング会社が輸入代金の支払を保証するもの。
・輸出不能リスク	×	×
・債権回収リスク		
- 信用危険リスク	○	○
- 非常危険リスク	×	×
・コスト負担者	輸入者	輸出者
・提供主体	・取引相手国の銀行	・ファクタリング会社

## 5. 本プログラムのご採用事例

※採用事例につきましては

●取扱代理店: 三井物産クレジットコンサルティング株式会社  
までお問い合わせください。

## 6. ご契約までの手続きフローイメージ



## 7. お客様(経営者)の本プログラムご採用メリット

### 1. 海外リスクマネジメント体制の向上(与信管理機能の強化)

海外お取引先の信用調査等を第三者の専門家へアウトソーシングすることで与信管理業務の効率化と与信管理機能の強化が図られ、お客様の海外リスクマネジメント体制の向上につながります。

### 2. 海外事業の更なる積極展開および収益拡大の実現

輸出取引拡大の足かせとなっている海外お取引先の与信管理、不測の事態における債権回収対応のリスクが軽減され、積極的な海外事業展開を推進しやすくなります。

### 3. 不測の貸倒損害をカバー、企業価値・ブランド力・信用力の向上

不測の貸倒損害が発生するとキャッシュフローが不安定になりますが、輸出取引信用保険のご利用により、資金繰り悪化、決算内容の悪化を防ぎます。不測の貸倒損害にスムーズに対応することで、株主、金融機関、仕入先等ステークホルダーからの信用、企業価値を低下させることなく寧ろ向上につなげることができます。

### 4. 貸倒損失の平準化

万一貸倒損害が短期間に重なって発生した場合、財務インパクトは大きく、会社経営を揺るがす危険性があります。輸出取引信用保険を利用し、毎期の保険料(全額損金計上可)としてご負担いただくことにより貸倒損害を平準化することが可能になります。